

あいつぐ 事業費の上振れ

将来に負債を 残して良いのでしょうか

「もし赤字が出た場合には橋下さんがおっしゃるとおり、府・市で負担するという考え方はあると思う」

吉村知事



（4月21日フジテレビ系
「日曜報道 THE PRIME」）

ねらいは カジノ(=IR)のためのインフラ整備？

当初予定になかった木造リング(350億円)などで会場建設費は1.9倍に。1.4倍に上振れした運営費はチケット収入をあててははずですが、開幕1年前でも前売りはわずか6%。府財政(財政調整基金)投入がねらわれています。半年間のイベントのために緊急時の基金を使うなど許されません。

- ✓ 下水道整備
- ✓ 夢舞大橋拡幅
- ✓ 此花大橋拡幅
- ✓ 大阪メトロ延伸
- ✓ アクセス自動車道路整備など

会場建設費
運営費



当初夢洲は万博の会場候補に含まれていませんでした。それを強引に万博会場にしたのは維新の会の知事や大阪市長です。カジノ(=IR)誘致計画のある夢洲のインフラ整備(アクセス道路など)を万博名目でやっ飛ばそうとの意図は明らかです。万博を利用したカジノづくりは許せません。

ギャンブルは人生そのものを破壊する

米大リーグ選手の元通訳の場合

「ギャンブル依存症である自分がすべて悪い」「自分で穴を掘ってしまい、その穴はどんどん大きくなり、そこから抜け出すためには、もっと大きな賭けをしなければならず、負け続けてしまった。雪だるま式に」(水原一平氏・米メディア「ESPN」)



マスコミも…

「大阪府では、カジノを中核とした統合型リゾート(IR)の開業計画が進んでいる。水原氏のように巨額の借金を背負い、人生を棒に振る人々を新たに生み出さないか。疑念は強まるばかりだ」(読売新聞3月27日社説)

プリツカー賞受賞の建築家も…

「大阪・関西万博。あれほどひどい計画は建築家から見たらあり得ない。カジノは日常生活を阻害する施設。社会貢献を前提にした博覧会が、明らかにカジノのための万博になっている」(山本理顕さん)

※プリツカー賞は建築界のノーベル賞といわれる賞。山本さんは今年の3月に受賞

大阪の未来に賭博場はいりません

“カジノ万博”は中止を!